

暁鐘の音

65

インターネットと就職活動

今やインターネット流行である。テレビのニュース番組のアンケートも、最近ではインターネットで集めている。FM放送のリクエストもインターネットである。

企業もインターネット上でホームページを開設して、今までとは違った活動を始めている。会社情報や取り扱っている製品の紹介だけでなく、企業の自己主張やそれに連動する形で社員の募集もインターネットで始め出した。「会社案内」の請求も、八ガキや電話では受け付けないという企業も出てきた。デジタル化された請求データがあれば、大量の発送事務を自動化することが出来る。

就職活動そのものも変わってくるだろう。ここ数年は厳しい雇用情勢のなかで、五〇社近い企業を回るようなことも珍しくないが、もうこんな無駄なことをしなくてもよくなるし、よく分からない一枚の書類で選考するようないいこともない。一人の面接時間も数分しか割けない中で、採用の可否を決めなければならないという状況もなくなる。

前もって電子メールでやり取りして選考してはいけよ。まずは選考のための履歴データを送ってもらおう。それも今の様な書式である必要はない。

い。もっと簡略化すればいい。次に仕事の考え方を「論文」の形で求める。これで大きく選別できる。このあと、個別に「質問メール」をやり取りしながら、その人の考え方や、仕事に対する意識や、ライフワークとしてのテーマなども交換して、さらに選別していく。

場合によっては人事部だけでやるのではなく、適当な部署の責任者に情報を回して、一緒になって電子メールでやり取りすればいい。

学生の方も、電子メールによる求職活動に積極的である。学生支援会の最近の調査によると六〇〜七〇%が「企業情報の収集に有効」とか「資料請求が簡単にできる」と答えており肯定的である。ただし、「電子メールで履歴書を送ることが出来る有効」と答えた人は八%しかない。これはプライバシーに関わる情報の扱われ方に対する不安から来ているものと思われる。

企業の方も、初期の段階で求める履歴の内容を絞り込むことで、不安を和らげる必要がある。それに、採用するかどうか分からない人の履歴書を数枚も集めても仕方がないし、処分にも困るだけだ。

自分の考えを文章にして相手に伝えるのは易しくない。面接なら前もって予行演習しておくことで、数分の

時間を適当に対応できて、二〇〇〇文字以上となれば、普段から自分の考えをまとめる事に慣れていないと出来るものではない。会場での試験と違って制限時間はないから、何時間かかっても書いても構わないが、適当に文字を並べただけの文章は、ちょっと慣れた人なら読めばすぐにメッキが剥がれてしまう。それに文字になったものは、相手に何度でも読み返されてしまう。意味不明の箇所はすぐにパレしてしまう。

当人と直接会って話しするのはこの関門を通過した後で良いだろう。必要なら、ここで改めて履歴書をもらえばいい。この段階までくると人数も相当に絞れているから、一人の面接にかけることの出来る時間は十分確保できる。日時の連絡も電子メールで済ませばよい。

相手も留守であるという問題ないし、学生の方も、いつ電話がかかってくるかと心配する必要もない。会ったときも、それまでにメールでやり取りしてきたものがあるのだから、話しのテーマに困ることはないし、その時には人事以外の人も接触すればいい。事前にメールで会話しておれば、きつと有益な話しかけるだろう。

これからは人を採用したいセクションの責任者が、もっと積極的に

接触すべきである。採用の事務的なことは専門の部署に任せるとしても、本人との接触は早い段階から行っていいのではないかと。

そして、インターネットや電子メールの発達は、今までのように卒業と同時に一括採用という採用形態も変えることになるだろう。

国としての生産性がイタリアの八〇%にまで落ち込んだことは、たとえ大企業と言えども、あてすほど余分な人を抱え込むことは出来なくなつたことを意味している。そして、



「すぐれた教師は、生まれながらではなく、作られるものである。それなのに、ほとんどの教師は、自己批判的、自己開発的見地に立って自分の授業のやり方を検討するのに、仕事時間の1%すら充てていないのである」(MIT「教師と学生」)

まれていないだけだろう。そこでは夢と連帯と尊厳を教えるべきであるのに、実際は怠惰と絶望を教えている。その中であつて真面目であるうとすればするほど、彼らは大人の身勝手さや社会の矛盾に苦しむことになる。なんとか絶望の淵に足を踏み外さずに向こうに渡れたとして来てしまった。いや、そんな袋があつたことも覚えていないだろう。

夢の袋を開けもしなかつた彼等は、学校を卒業したあとも自分は何をしたのか分からない。どうすれば「分かるのか」も分からない。とりあえず就職し、とりあえず毎朝会社に出るのである。大人の役割は、子供に夢を与えることではないのか。「子供と書いてミライと読む」かつてこんなコマースヤルがあつたが...

日本でも、関係者が隠しているか、実態を見ようとしていないだけで、ほとんど同じ様な状況にある。ピストルが持ち込